

★フレーム／ハンドルポスト ヒンジレバーに関して★

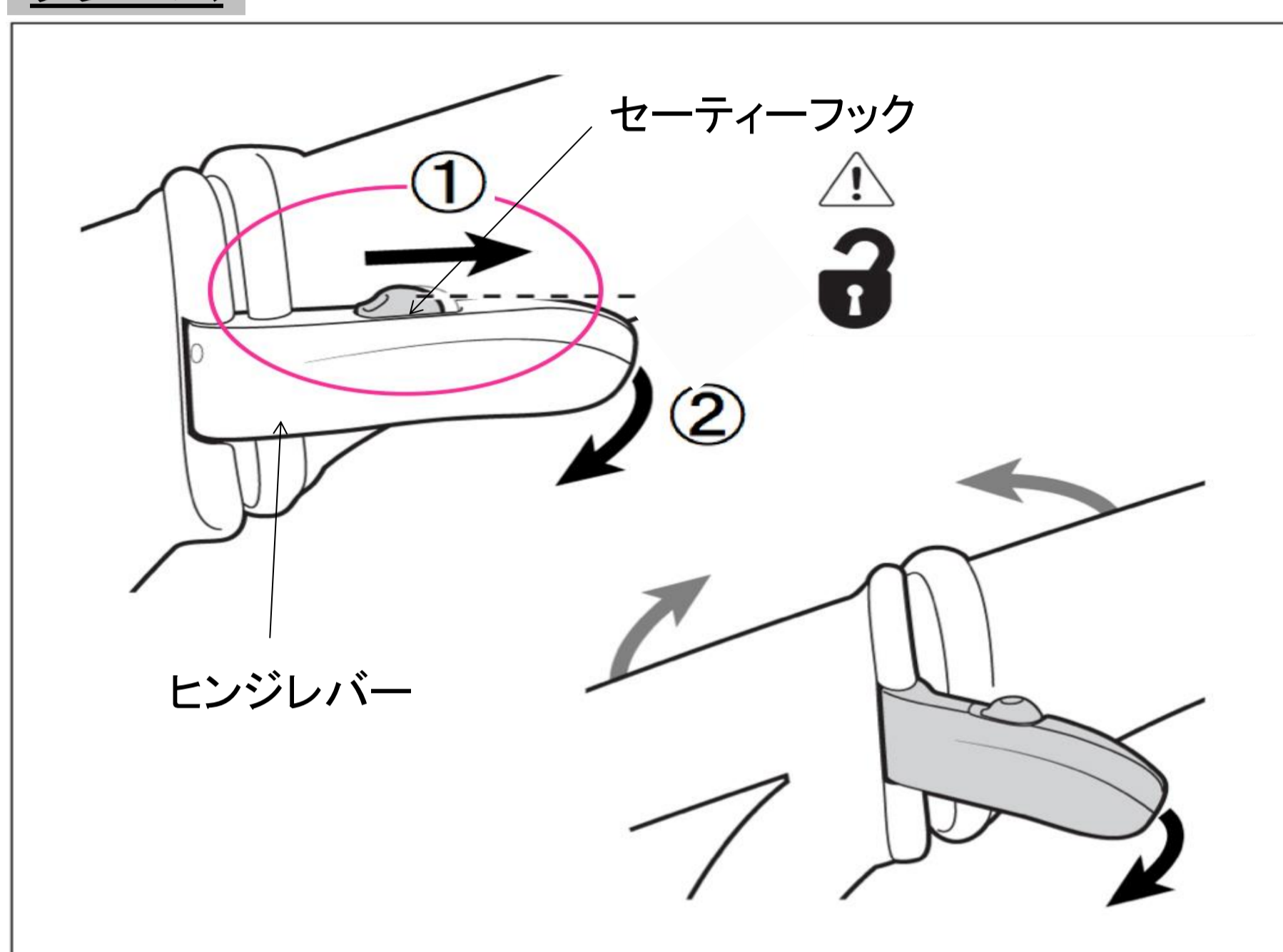


フレームおよびハンドルポストのヒンジ部には、「ロックピン」が内蔵されたヒンジレバーがあり、そのヒンジレバーを閉じることで折りたたみ部がロックされます。

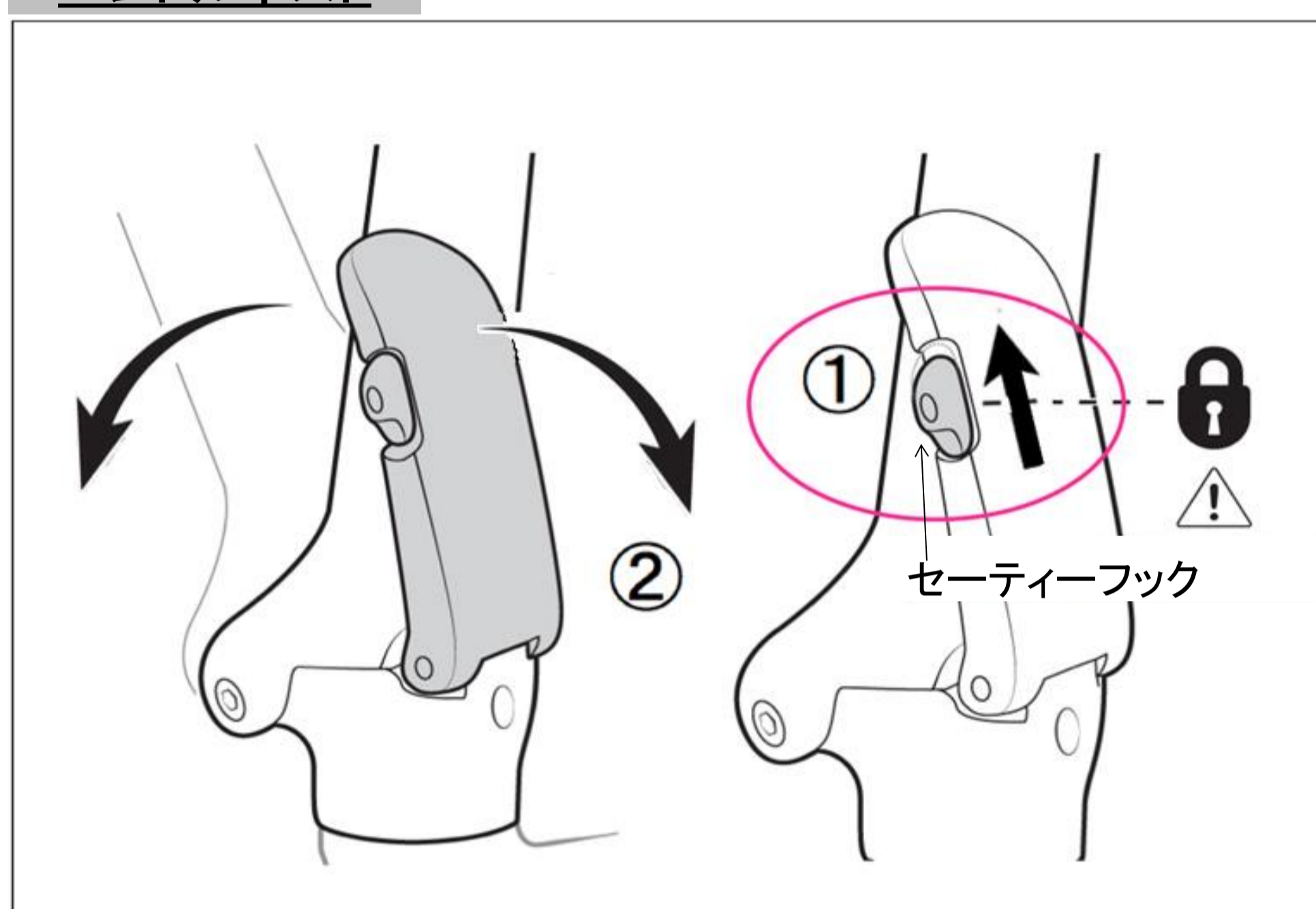
フレーム側内部のロックピンは誤った使い方をされますと、ピンが破損する恐れがございます。

2021.10更新版

フレーム



ハンドルポスト



★ヒンジレバー解除方法

①セーフティーフックをスライドする

②セーフティーフックをスライドさせたまま、レバーを引き解除

※ロックをかける時は、そのままヒンジレバーを戻してください。自動的に内部のロックピンがかかります。

【点検】乗車前に、必ず以下の点検をお願いいたします

◆内部のロックピンの状態チェック

まず、ロックがかかっている状態で、セーフティーフックには触れず軽い力でレバーのみを引っ張ってください。
(フレームヒンジ部においては、力を入れすぎると内部ピンの破損につながる場合がございますのでご注意ください)
セーフティーフックに触れずにレバーが開閉された場合は、内部のロックピンが破損している可能性があります。
この場合は、ロックピンの交換が必要となりますので、ご購入された正規販売代理店へお問い合わせください。

◆ヒンジレバー開閉の固さチェック

ヒンジレバー開閉の固さは、レバーに接続されている調整ボルト(六角形状)で行ないます。



調整が十分に整備されていない場合、乗車時に転倒など重大な事故につながる恐れがあります。
レバーを閉じる強度については、調整ボルトで調整を行ってください。

フレーム側(調整ボルトにカバーが付いていない):手で簡単に回らない固さが適切(工具を使用)。

手で回る場合は必ずネジロック剤を塗布していただきますようお願いいたします。

ハンドルポスト側(カバー付):工具無しで手で調整可能。カチカチと音がするのでちょうど良い固さで止めます。

Tern Bicycles 日本総代理店
株式会社アキボウ